

地方創生事業好事例紹介

じゃぱにうむ

じゃぱにうむレビュー 第12回

オウンドメディアの融合により地域社会に貢献する情報のValue Creator 株式会社 宮崎南印刷

株式会社 宮崎南印刷

所在地：宮崎県宮崎市大字田吉350番地1

代表者：代表取締役社長 大迫 雅浩

従業員数：95名（2023年4月現在）

URL：<https://minami-p.co.jp/>

自治体広報誌の電子書籍ポータルサイトとは？

県や市などの自治体が発行する広報誌や観光パンフレットといった印刷物を電子書籍化してとりまとめて掲載しているWebサイトをご存知だろうか？

宮崎県のほかに、宮崎市、延岡市、都城市など県内26の市町が発行する広報誌、情報誌、パンフレット、リーフレット、マップなどが検索できる「miyazaki ebooks（ミヤザキイーブックス）」がそれだ。「miyazaki ebooks」は、インターネット上で宮崎県の電子書籍を無料で閲覧できる、地域特化型電子書籍ポータルサイトとして2012年4月に正式にオープンした。

地方において、県や市町村などの自治体が発行する刊行物は重要な情報にも拘わらず、発行部数が限られていたり、刊行物を入手できる場所までの距離があるといった理由で、「手にできない」県民、市

民の人たちが多くいるという。そこで、「電子書籍にすれば、飛躍的に多くの方に必要な冊子を見てもらうことができるのではないだろうか？」「あえて宮崎県だけに絞ることで地元の人にとって情報を得やすく、また宮崎の良さを再発見していただけるのではないか？」と考え、パソコンやスマートフォン、タブレットを使って、いつでも、誰でも、どこからでも、すべて無料で閲覧が可能なWebサイトが構築された。

この「miyazaki ebooks」を企画・運営しているのが、宮崎市に本社を構える株式会社宮崎南印刷だ。代表取締役社長の大迫雅浩氏は、次のように述べている。印刷のその先へ。印刷会社からソリューションプロバイダーへ。私達はお客様に寄り添いながら共に考え、共に行動し、情報の「価値」を創造しますと。「miyazaki ebooks」は正しく大迫社長の言う情報の価値の創造を具現化したものではなからうか。

このWebサイトには県議会広報誌、市の広報誌のほか、宮崎県の伝統工芸を紹介する冊子、子育て情報誌、求職者向け市内企業の紹介誌、環境関連冊子など幅広いジャンルの電子書籍が用意されている。また更に訴求したい情報誌などは、トップページに配置されたビジュアルなタブから、ダイジェストページを経て電子書籍にアクセスできる仕組みも用意されている。県内の村への移住定住を紹介する情報誌や観光パンフレットのページではその魅力を伝える動画が、また、県内の美しい風景をスマホの壁紙



「miyazaki ebooks」

としてダウンロードできるページへのタブも用意されている。

地元に着した歴史あるフリーペーパー

宮崎南印刷は、メディアプロモーション事業としてフリーペーパーによる広告ビジネスも行っている。宮崎地域みっちゃく生活情報誌「月刊パームス」は、毎月83千部を発行する地域情報満載の情報誌だが、その配布方法が特徴的だ。発行部数の63%が地元紙宮崎日日新聞の配達ルートで宅配されており、大型商業施設などにラックを設置しての街頭配布の16%を大きく上回っている。配布エリアも宮崎市内が約9割、その他の市が約1割と、配布エリアを宮崎市に絞って配布している。驚くべきは、その発行号数だ。日本印刷技術協会の第8回「JAGAT 印刷会社のフリーペーパー調査」によると、2022年まで発行されているフリーペーパー30誌の中では、発行開始年は1991年と2番目に古く、発行開始から2023年7月号で380号を数える。これだけでもオウンドメディアとして、また、広告媒体としての認知に成功していると言えるのだが、それだけにとどまらない。宮崎南印刷は、この「月刊パームス」を前述の「miyazaki ebooks」に掲載している。

戦略的なオウンドメディアの融合

「miyazaki ebooks」は、自治体が発行する広報誌などの冊子は無料で掲載が可能だが、一般企業や団体が発行するものは、県や市町に関わるものであることと無料で配布しているものに限定し一定の掲載料を受領し掲載している。とは言い、掲載料取



「月刊パームス」

入だけでビジネスとして成り立つものであろうか？では何がビジネスメリットになっているのか？

自治体が発行する各種の冊子を無料で掲載可能なポータルサイトを運営している企業として、自治体からの認知度向上及び信頼の獲得に多大な影響を及ぼしていることは想像に難くない。しかし、それ以上のメリットは、自社が企画・運営する「miyazaki ebooks」という公共情報のポータルに、自社の広告媒体を掲載していることである。そしてもう一つの秘密は、印刷会社が自社で自由に使えるプラットフォームを持つことにより、紙とデジタルによるハイブリット提案で、訴求力を飛躍的に向上させていることにある。印刷物を電子的に流通させる手段も提供することで、顧客の「情報を発信する目的」に対してしっかりとお手伝いをしながら、印刷物の受注を促進する。ここに、宮崎南印刷の戦略性が見てとれる。

そして更に注目すべきは、宮崎南印刷はこの「miyazaki ebooks」というビジネスモデルを全国に展開すべく、「Japan ebooks」というネットワーク組織を立ちあげており、趣旨に賛同し同様なWebサイトを運営する28都道府県の印刷会社が加盟して、ノウハウを共有しながら地域が抱える様々な課題解決に寄与している。印刷会社の可能性を信じる未来志向の印刷会社が集まったこのネットワークとそれをリードしていく宮崎南印刷から今後目も離せない。



「miyazaki ebooks」×「月刊パームス」